

令和4年度 幼児教育アドバイザー育成研修 実施要項

- 1 目的 園所や市町村の中核となって研修を実施するためのファシリテーション能力や、新規採用者等経験の少ない教員への指導助言など、幼児教育の推進に貢献できる専門的資質・能力の向上を目的とする。
- 2 対象 保育所、幼稚園及び幼保連携型認定こども園等の教職経験3年以上の保育士、幼稚園教諭、保育教諭、並びに府立視覚支援学校・聴覚支援学校の幼稚部の教諭（園長等の受講可）

募集人数 180名

3 内容等

回	日時	内容	カテゴリ	会場等
1	5月25日（水） ～ 6月8日（水） 提出締切：6月17日（金）	幼児教育の現状と課題	A	オンデマンド開催
2	6月15日（水） 14:00～17:00	子ども理解と援助・指導の在り方	A	大阪府教育センター
3	7月8日（金） 14:00～17:00	「非認知的能力」を育む援助の在り方 カリキュラムマネジメントを意識した保育づくり	A	大阪府教育センター
4	8月31日（水） ～ 9月22日（木） 提出締切：9月30日（金）	人材育成（メンタリング）	B	オンデマンド開催
5	8月26日（金） 14:00～17:00	研修の企画・立案の在り方【理論】	B	大阪府教育センター
6	9月7日（水） ～ 9月28日（水） 提出締切：10月7日（金）	発達や学びの連続性を踏まえた幼小接続 ー小学校教育の観点からのスタートカリキュラムー	A	オンデマンド開催
7	9月30日（金） 14:00～17:00	支援教育・人権教育の観点を踏まえた子ども理解と学級経営	A	大阪府教育センター

8	11月10日(木) 14:00~17:00	子育て支援、家庭や地域との連携	B	大阪府教育センター
9	2月6日(月) 14:00~17:00	研修の企画・立案の在り方【検証】	B	大阪府教育センター

【留意点】※受講については、A、B、A+Bを選択し、1年もしくは2年で修了すること。
※Aについては、幼稚園10年経験者研修と合同開催。

4 会場 第1、4、6回 所属園等

第2、3、5、7~9回

大阪府教育センター（大阪市住吉区苅田4丁目13番23号 電話 06-6692-1882）

<p>Osaka Metro 御堂筋線「あびこ」駅下車、東北東へ約700m JR 阪和線「我孫子町」駅下車、東へ約1,400m 近鉄南大阪線「矢田」駅下車、西南西へ約1,700m</p>

5 担当室 企画室

- 6 その他
- (1) 受付は30分前から。
 - (2) 来所時には、所属名・名前の入った名札を着用すること。
 - (3) 自家用自動車・バイク等は大阪府教育センターに駐車できません。
 - (4) 事前に準備しておく事項があるので、シラバスを必ず確認すること。
 - (5) Web開催（オンデマンド開催、リアルタイム開催）の場合、研修対応ポータルサイトの実施マニュアルを参照すること。

個別募集

1 目的

園所や市町村の中核となって研修を実施するためのファシリテーション能力や、新規採用者等経験の少ない教員への指導助言など、幼児教育の推進に貢献できる専門的資質・能力の向上を目的とする。

2 「幼児教育に関わる教職員の育成指標」の対象項目

	I			II			III			IV		V			VI		
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
第4期																	
第3期	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第2期	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第1期																	

3 研修課題とねらい等

回	研修課題	ねらい	準備物・事前課題
1	幼児教育の現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・国や大阪府の幼児教育の動向や現状と課題について、知見を深めるとともに、幼小接続等の今日的課題について理解を深める。 ・幼稚園教育要領等の趣旨を生かした子ども主体の保育について考え、自園の課題を発見し、解決に向けて改善し続ける保育実践力を身に付ける。 	
2	子ども理解と援助・指導の在り方	乳幼児の発達等の状況を踏まえつつ、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を見通しながら、この時期にふさわしい援助・指導の在り方について、理解する。	
3	「非認知的能力」をはぐくむ援助の在り方	幼稚園教育要領等の趣旨を踏まえ、「非認知的能力」の重要性とそれを育む援助の在り方について、子ども理解と関連させて理解する。	
	カリキュラムマネジメント	園の目標を実現するための、学級経営計画や指導案の作成・実施・評価・改善の一連の適切な実施について理解を深めるとともに、研修等で指導する際の留意点等について理解する。	
4	人材育成（メンタリング）	メンターとメンティとの人間関係で繰り広げられる人材育成の手法を学び、OJTの活性化の担い手として活躍できるための理論と手法を理解する。	準備物 研修資料 ⇒ ダウンロード
5	研修の企画・立案の在り方【理論】	市町村や園所内で実施する研修を企画・立案・実施したり、ファシリテーションをしたりする際の方法や必要な能力について理解する。	準備物 実践レポート ⇒ ダウンロード

6	発達や学びの連続性を踏まえた幼小接続 ー小学校教育の観点からのスタートカリキュラムー	幼小接続について、小学校教育の観点から、その現状を知り小学校教育における「幼児期の学び」を基礎とした取組みについて理解する。	
7	支援教育・人権教育の観点を踏まえた子ども理解と学級経営	<ul style="list-style-type: none"> ・障がいについての理解を深め、ユニバーサルデザイン等の効果的な支援の在り方を学ぶとともに、違いを受けとめ、ともに豊かに育ちあえる学級経営について理解する。 ・所属園等での実践を踏まえ、自らの成果と課題をまとめ、考えを深める。 	
8	子育て支援、家庭や地域との連携	家庭や地域との一層の連携を図るため、保護者との適切なかかわりについて理解を深めるとともに、園所で起こりうる保護者対応や家庭・地域との具体的な連携の方法について考える。	事前課題 レポート ⇒ ダウンロード
9	研修の企画・立案の在り方【検証】	受講者が市町村や園所内で企画・立案、ファシリテーションする研修について、その成果や課題を持ち寄り研究協議することで、幼児教育を推進するリーダーとしての自覚を高めるとともに、園所内研修の実施に向けて自らの課題を整理する。	提出物 実践レポート ⇒ ダウンロード